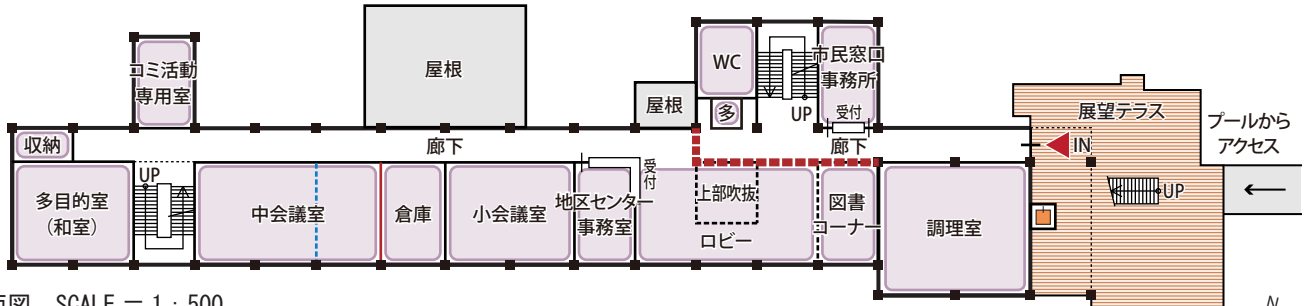


1 階平面図 SCALE = 1 : 500



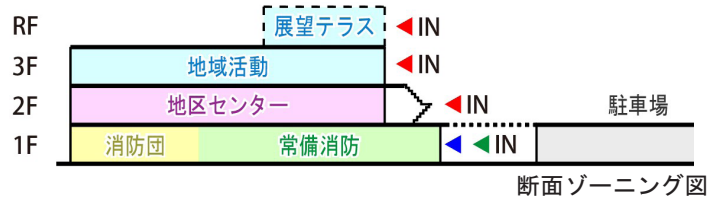
2 階平面図 SCALE = 1 : 500

— 凡例 — 地区センター 消防庁舎 消防団 地域活動 市民 常備消防 消防団 セキュリティライン 新設壁 減築壁



4-1. ゾーニング・動線計画

4つの施設用途（常備消防、消防団、地区センター、地域活動）の動線やセキュリティを明確にするため平面的なゾーニングとすることで、機能的で利便性の高い建物構成とします。



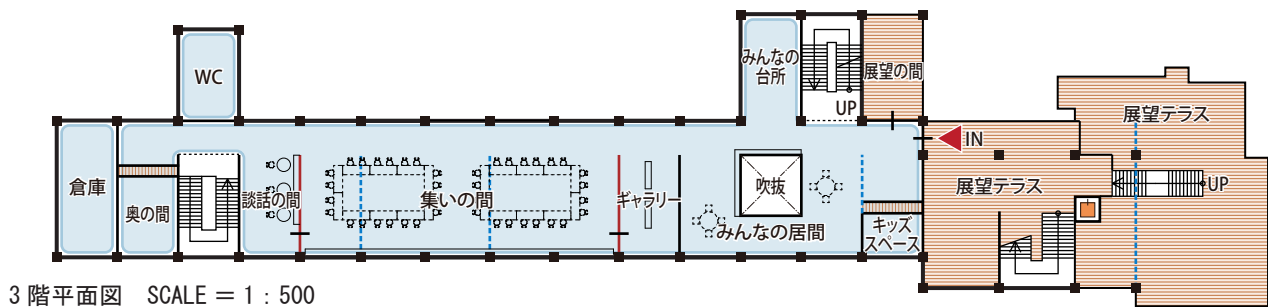
- 1 階：常備消防は旧給食室から、消防団は旧児童昇降口から、地区センター事務室及び市民窓口事務所へは旧職員玄関のロビーからアクセスする計画とします。
- 2 階：2 階駐車場と建物をつなぐブリッジを設置することで、外部からアクセスできる計画とします。
- 3 階：屋内階段のほか、エレベーター、屋外階段によるアクセスを検討します。
- R 階：外部テラスに屋外階段を設置することで、外部から直接アクセスできる計画を検討します。

4-2. 1 階：常備消防・消防団フロア

- 東側に「常備消防エリア」、西側に「消防団エリア」を配置します。
- 各エリアの境界にはセキュリティを設けることで、用途毎に動線が完結する計画とします。
- 各消防エリアには事務所と会議室を計画します。
- 倉庫を適宜配置することで、十分な収納スペースを確保します。
- 旧屋内運動場と旧校舎を接続する渡り廊下がある西側に、災害時の避難生活に支援や配慮を必要とする住民が利用できる避難スペースを計画します。

4-3. 2 階：地区センターフロア

- 2 階駐車場と建物をつなぐブリッジを新設することで、市民のスムーズなアクセスを可能とします。
- 地区センター事務室及び市民窓口事務所について、それぞれが個別管理できるようセキュリティを計画します。
- 地区センター事務室及び市民窓口事務所の中心に位置する空間にロビーを設け、畳コーナーや絵本コーナーを併設することで、利用者が立寄りやすい場所を計画します。
- 西側にはクローズな活動を行うための場所として会議室などの個室を計画します。
- 壁の位置を一部変更することで、大人数が収容可能な会議室を計画します。
- 既存理科室の設備を活かし、眺望が優れ活動が外から視認できる東側に調理室を計画します。
- 各コミュニティ団体が利用できるコミ活動専用室を計画し、活発なコミュニティ活動を応援します。
- 東側展望テラスに屋外階段を新設します。



3階平面図 SCALE = 1 : 500



R階平面図 SCALE = 1 : 500

— 凡例 — 地区センター 消防庁舎 消防団 地域活動 市民 常備消防 消防団 セキュリティライン 新設壁 減築壁



4-4. 3階：地域活動フロア

- 誰もが立寄りやすく居心地のよい居場所を目指して、多様な活動が生まれるオープンな活動フロアを計画します。
- 立寄りやすさや改修コスト削減を考慮し、基本の床仕上げを土間とします。活動の内容に合わせてフローリングやカーペット、畳仕上げを部分的に設けることで、オープンな空間に多様な居場所を創出します。
- 開けた東側はにぎわいエリア、奥まっている西側は落ち着いたエリアとしてゾーニング計画します。
- 耐震性を担保しながらも部分的に壁の位置を変更することで、190㎡程度の大空間（集いの間）を計画します。地域の総会やパブリックビューイング、映画上映会など、大人数での集会やイベントにも対応可能とします。
- 一部吹抜けを検討します。建物の自重軽減を図るとともに、上下階のつながりを高めます。上下階の雰囲気が感じられることは管理の負担軽減にも寄与します。
- 東側を一部外部化することで、西浦の風景が体験できる展望テラスを計画します。
- 隣接する西浦保育所とのつながりを考慮し、子どもが遊べるキッズスペースを計画します。
- 食を介した交流や教育が生まれることを意図して、地域の食材を持ち寄って利用できるキッチンを計画します。
- 文化的活動の表現の場としてギャラリースペースを計画します。
- 西側の落ち着いた活動スペースとして、少人数での談話スペースや下足を脱いで利用する奥の間を計画します。
- 展望テラスには西浦の風景を体験しながら屋上へアクセスできる屋外階段を検討します。

4-5. R階：地域活動フロア

- 眺望に優れた東側に、西浦の風景を体験できる屋上展望テラスを検討します。
- 屋上のみの利用者が想定し、内部を通らず直接アクセス可能な屋外階段を検討します。